令和７年５月２５日

ウォーカブルなまちづくりの活動 提案書

活動名	通学路をもっと安全に、もっと楽しくしてみよう “毎日学校に行きたくなる”通学路ガーデン化プロジェクト（Step２）
提案者名	千代田区地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）坂口次郎、加藤由佳、小林加乃、飯田圭
提案者の所在地	[redacted]

【下記事項について記載してください。】

〇開催時期：2025.10.25(土)小学校体育学習発表会にあわせて実施

〇活動場所：

千代田区立富士見小学校前面道路（早稲田通り）の一部、北側道路及び小学校敷地

〇目　　的：

早稲田通りの通学時間帯の歩行者専用化を目指し、R6年度の実証実験に引き続きStep2として取り組む。

（１）路面標示による通学路としての意識喚起と車の減速効果の検証

（２）通学時間帯の歩行者専用化に関する関連町会、店舗、事務所等への合意形成

（３）学校と地域が連携して取り組むことによるコミュニティ強化

〇活動内容：

（１）路面標示による実証実験

小学校前面道路（早稲田通りの学校前面部）に通学路、スクールゾーンを示す新たな路面標示（シートによる貼付け）を施すことで、意識の喚起を促す。またあわせて車の減速効果について検証する。なお、路面標示デザインは富士見小児童が地域コーディネーターと共に考案する。

（２）ヒアリング調査、座談会の実施

今回の取組みを振り返るとともに、早稲田通りの歩行者専用化に関する町会、関連店舗、事務所等へのヒアリングを行い、課題を洗い出す。また、合意形成に向けた有識者等を交えた座談会を行う（10/25予定）。（有識者は未定）

（３）道路空間を活用した学習発表会への地域参加

・小学校の体育学習発表会にあわせて、町会等から子供たちへのメッセージを印刷したのぼり旗を道路沿いに設置

・早稲田通りの歩行者専用時間（12:00-13:00）を活用した、地域交流ランチタイムイベント

・体育学習発表会後の学校北側道路活用した落書き広場、隣接する学校敷地内を活用した各種ワークショップ

【開催までのスケジュールを記載してください。（企画の検討や周囲との合意形成等の準備期間を踏まえて）】

6月：警察、区（道路管理）路面標示に関する協議、富士見小との標示デザイン案検討開始
7月：企画の詳細検討、町会等地元関係者との調整
8月：路面標示シートの試行（施工性、安全性等確認）
9月：近隣説明（個別、ビラ配布等）、材料調達
10月：10/25(土)実証実験、座談会、アンケート調査の実施
11月：地元関係者へのヒアリング（実証実験振り返り、歩行者専用化への意向等）
12月：アンケートのまとめと効果検証
1月：報告書の作成、今後の展開検討

【今回の活動を行いたいと思った理由を記載してください。（地域の課題やそれに対する解決策、まちに対する思い等を踏まえて）】

◆地域の課題認識

千代田区立富士見小学校周辺は富士見小、こども園だけでなく九段中等、暁星学園、白百合学園等の教育機関が集積しており文教地区となっている。その中央を通る早稲田通りは通学路の指定はあるものの、通学時間帯の歩行者専用規制はされておらず、朝の通学時間帯は混雑している（毎朝1,500人超が利用と推測）。一方早稲田通りを通る車のほとんどは東京駅方向への通過車両だと推測され（7:30-8:30で約170台）、並行して走る目白通り等へうまく迂回を促せられれば通学時間帯の歩行者専用化が可能となり、地域に通う子供たちがより安全に通学できると思われる。（12:00-13:00の歩行者専用化は既に導入済み）

また、富士見エリアの文教地区としての特徴を活かし、車中心から人中心へ子どもにやさしいまちづくりを推進することにより、子供を中心としたQOLの向上やシビック（富士見）プライドにつなげることが可能と思われる。

【今回提案する活動の実施体制や役割分担、収支予定について記載してください。】

〇実施体制・各主体や団体内の役割分担
・企画、全体統括、責任主体：富士見小地域コーディネーター
・路面標示デザイン検討：富士見小児童（5年生を想定（調整中））
・道路交通に関する助言：交通関連専門コンサルタント
・先行事例に関する助言：日本女子大学家政学部住居学科薬袋研究室（今後調整）
・イベント時のボランティア：富士見小PTA及びおやじの会

〇収支予定
【支出】
・路面標示シート（道路社会実験等で実績あり：グラシャルシート）：【20万円】
・小学校敷地内での各種ワークショップ材料等：【5万円】
・有識者座談会、各種助言、アドバイス等に関する謝礼：【5万円】
計【30万円】
小学校北側で実施する落書き広場等については、R6年度調達済みの資材を再利用する。

【今回の活動後、継続的な活動を検討されている場合はそちらも記載してください。】
早稲田通りの通学時間帯の歩行者専用化を目指し、今回をStep2と位置づけ路面標示の効果検証を行う。今後も段階的に関係者の合意形成を図りながら活動を継続していく。

【今回提案する活動のポイントを記載してください。】

（１）子どもを中心としたウォーカブルな取り組み

地域に通う子どもを中心に通学路に着目した取り組みであり、その改善過程に子供たちが自ら関わることで周囲の協力を促す推進効果と子供たちへの教育効果の複眼的視点を持つこと。

（２）学校を中心とした地域づくり、エリアマネジメントへの展開

地域の特徴を活かし学校を中心とした地域づくりの一環としてウォーカブルな活動に取り組み、今後エリアマネジメントとしての展開を想定していること。

（３）デベロッパーや行政主導ではない区民視点での発意と行動

近年のまちづくりに見られるデベロッパーや行政主導ではない、区民視点での地域環境向上への発意であり、行動であること。

本活動に採択された場合、実施するにあたって下記に同意していただく必要がございます。同意いただける場合は、各項目の□にチェックを付けてください。（同意いただけない場合は、採択いたしかねますのでご了承ください。）

☑募集要項に記載の「３ 応募資格」および「４ 活動の要件」を満たしていること

☑採択後に本活動の趣旨に明らかに適していないと区が判断した場合は、活動の支援を取りやめる可能性があること

☑今後のさらなるウォーカブルなまちづくりの推進に向けて、提案書や活動報告書等については千代田区のホームページ等にて公開するため、了承の上作成すること

☑今回の活動を機に、その後の活動の支援を確約できるものではないこと

※上記に加え、企画書や説明動画などの補足資料を添付していただいても構いません。